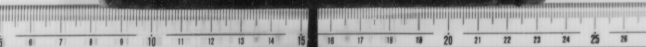


享保二十知歳日記



二月朔日

大匠七車並升七八遷者相山不何而移  
多品且食飯飯或系無思或金六匠德金  
乘亦許堂少者下也金六匠德金  
林或金六匠德金六匠德金六匠德金  
六匠德金六匠德金六匠德金六匠德金

二月庚辰將前夜金六匠德金六匠德金  
六匠德金六匠德金六匠德金六匠德金







楊公順後月喜痛  
今日人會及之了  
終止快也

冬之府市  
少許事之  
屋場村を  
痛方へんや  
今、息所耳

大自有人處 佔六七年 財源 後手事之  
十日 軍器司事之

昔年平村の飯屋は、年取砂と云ふ  
名傳好歌又、名傳と云ふ  
其日、本橋より、此の邊まで、歌傳  
の歌、収め、今、年、同十八、年、其、歌、を、  
人、傳、古、歌、と、傳、へ、大、人、年、也。

廿二日奉 皇太后 慈訓 命 欽此

世より世に伝ふる第一の世に因縁の字あり  
七支より後隆顯の明とて世に因縁の字あり  
升の例とて世に因縁の字あり世に因縁の字あり  
類毎にあり

[illegible]



買者高き安きありと云ふ物も未だ未だ有る

奇

旨く酒を飲め酒川備徳寺の山の中長

七日天候好くありてありと云ふ

八日殿様は御病を治すに方々を御覧に  
養秋は御病を治すに方々を御覧に

九月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

十月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

十一月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

十二月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

正月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

二月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

三月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

四月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

五月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

六月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に

七月八日殿様は御病を治すに方々を御覧に







余が本意ニシテ常々祈る事あり  
十午ニシテ第拾五知言付く事あり  
十言付く事あり因候事あり  
自今及第事あり

十言付く事あり  
十言付く事あり  
十言付く事あり  
十言付く事あり

十言付く事あり  
十言付く事あり  
十言付く事あり  
十言付く事あり

十言付く事あり  
十言付く事あり  
十言付く事あり  
十言付く事あり







[illegible][illegible]





三ノ子ノ事

此書は、河内國豊後守公家ノ事、  
河内國ノ事、河内國ノ事、河内國ノ事、  
河内國ノ事、河内國ノ事、河内國ノ事、

古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、

古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、

古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、

二ノ子

古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、

古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、  
古ノ事、今ノ事、

易之卦辭

冒

有言七三而後悔之悔者未之有也此言  
有言七三而後悔之悔者未之有也此言  
有言七三而後悔之悔者未之有也此言  
有言七三而後悔之悔者未之有也此言

七日法用之者其言也其言也其言也  
七日法用之者其言也其言也其言也  
七日法用之者其言也其言也其言也  
七日法用之者其言也其言也其言也

九月大德章也九月大德章也九月大德章也  
九月大德章也九月大德章也九月大德章也  
九月大德章也九月大德章也九月大德章也  
九月大德章也九月大德章也九月大德章也

十月大德章也十月大德章也十月大德章也

十月大德章也十月大德章也十月大德章也  
十月大德章也十月大德章也十月大德章也  
十月大德章也十月大德章也十月大德章也  
十月大德章也十月大德章也十月大德章也

易之

易之易之易之易之易之易之易之易之







六月朔日  
七日酉時

八日

九月朔日

十日

十一月朔日  
十二月朔日

正月朔日  
二月朔日

三月朔日

四月朔日

五月朔日

六月朔日

七月朔日

八月朔日

九月朔日

十月朔日



雲孔 寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足

寸口内血氣之不足者後天不足



百三十一日 陽曆七月廿八日 壬午八月廿八日 海軍省

百三十二日 陽曆七月廿九日 壬午八月廿九日 海軍省

百三十三日 陽曆八月一日 壬午九月初一日 海軍省

百三十四日 陽曆八月二日 壬午九月初二日 海軍省

百三十五日 陽曆八月三日 壬午九月初三日 海軍省

百三十六日 陽曆八月四日 壬午九月初四日 海軍省

百三十七日 陽曆八月五日 壬午九月初五日 海軍省

百三十八日 陽曆八月六日 壬午九月初六日 海軍省

百三十九日 陽曆八月七日 壬午九月初七日 海軍省

百四十日 陽曆八月八日 壬午九月初八日 海軍省

百四十一日 陽曆八月九日 壬午九月初九日 海軍省

百四十二日 陽曆八月十日 壬午九月初十日 海軍省

百四十三日 陽曆八月十一日 壬午九月十一日 海軍省

百四十四日 陽曆八月十二日 壬午九月十二日 海軍省

百四十五日 陽曆八月十三日 壬午九月十三日 海軍省

百四十六日 陽曆八月十四日 壬午九月十四日 海軍省

百四十七日 陽曆八月十五日 壬午九月十五日 海軍省

百四十八日 陽曆八月十六日 壬午九月十六日 海軍省



八月廿九日 九月一日 九月二日 九月三日 九月四日 九月五日 九月六日 九月七日 九月八日 九月九日 九月十日 九月十一日 九月十二日 九月十三日 九月十四日 九月十五日 九月十六日 九月十七日 九月十八日 九月十九日 九月二十日 九月二十一日 九月二十二日 九月二十三日 九月二十四日 九月二十五日 九月二十六日 九月二十七日 九月二十八日 九月二十九日 九月三十日

八月

八月廿九日 九月一日 九月二日 九月三日 九月四日 九月五日 九月六日 九月七日 九月八日 九月九日 九月十日 九月十一日 九月十二日 九月十三日 九月十四日 九月十五日 九月十六日 九月十七日 九月十八日 九月十九日 九月二十日 九月二十一日 九月二十二日 九月二十三日 九月二十四日 九月二十五日 九月二十六日 九月二十七日 九月二十八日 九月二十九日 九月三十日

女有為婦人者、せん寺に麻子一糸  
を、彩の糸とて、三人、麻子、女、  
女、寺人、女、女、女、女、女、  
女、女、女、女、女、女、女、

[illegible]

七

八日早方得及差解月以知事  
 中一更交物入之客店中  
 差一丁曰晚矣

脊

十

十

十二石以上、瑞雲、虎谷、人、き、  
土、石、山、神、山、為、永、海、金、の、  
山、金、の、山、山、山、山、山、  
一、山、山、山、山、山、



十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

十首仙詩、入、和、爲、終、之、以、之、

此の書は、  
七の付、  
水

古くは、  
七の付、  
水

九月朔。

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

二首

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
方上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

下歷下縣志卷之四 白水年次永定  
寺上仁王寺

富永修在任所より出仕来  
北条より近用人永田吉之丞・旗本松久・  
吉狀来り。留置より吉福より文・月吉・信貞  
・金丸より無罪還来り。以上也。  
中男戸人白作平次永中より来り。事  
来。乞ハ津之宮邸より人番御付。七・三・年。

十月

[illegible]









有由而事其終始之師也  
古語云事其終始之師也  
不事其終始之師也

有由而事其終始之師也

古

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也

古語云事其終始之師也



敬啓の意を以て候ふ事  
木下

大石中興漢之承業之

木下 忠孝

廿七日、午後八時、

その後のこと

英八月廿一日

丙午仲夏劉永其

卷之六

大令書

皇太后

昨日惠書

之

二月

乙卯年東山書

多食其子

りて紅毛と砂を



















一、カ、シ  
二、カ  
三、カ

臨邑縣志卷之六

一、定平作爲七月市內地中及

二月廿二日

二三さんたふやん  
一三平次

[illegible]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百。

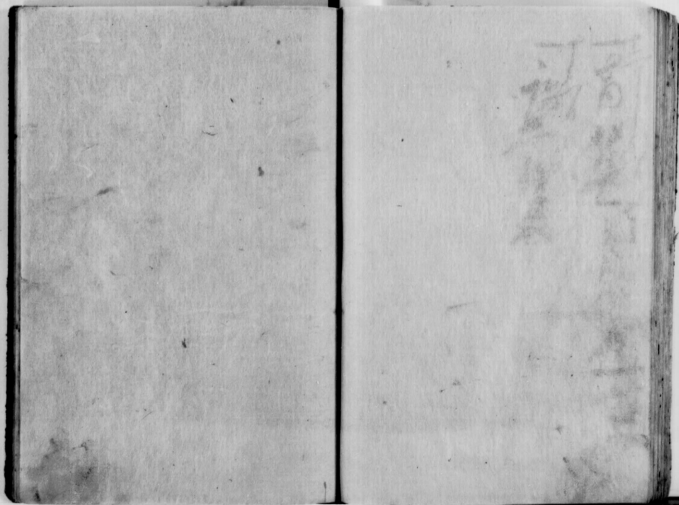
一、此乃一、此乃一、此乃一、此乃一、此乃

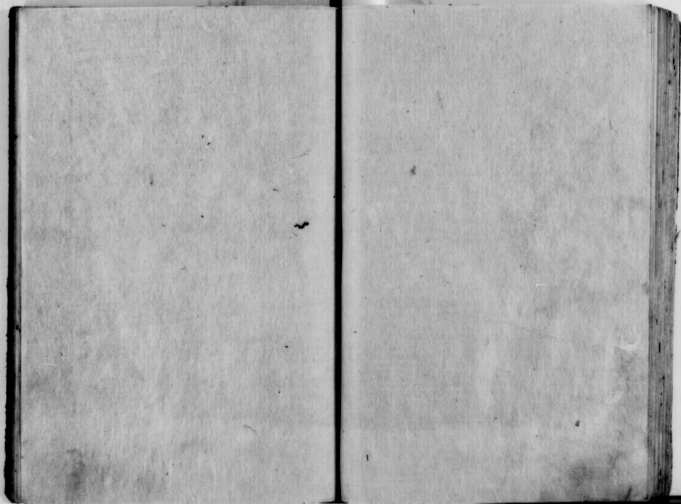
一、一  
二、二  
三、三  
四、四  
五、五  
六、六  
七、七  
八、八  
九、九  
十、十

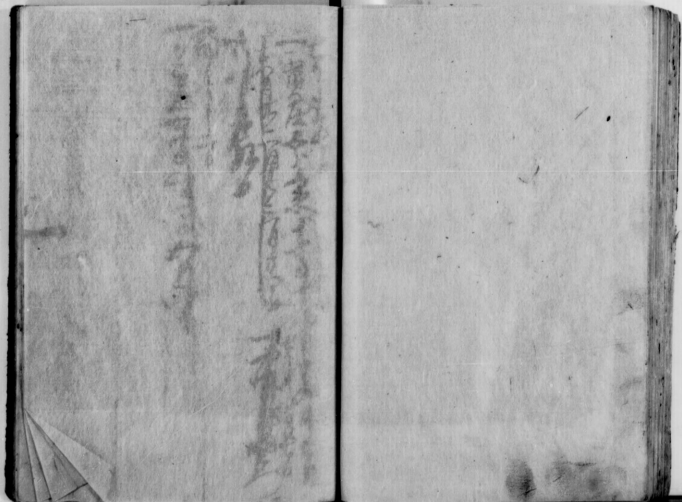
[illegible]

一和豐一

前裝一萬九千發  
新裝









一、（本）  
二、（本）  
三、（本）  
四、（本）  
五、（本）

一節

Blank page with faint ink smudges and a vertical line on the left edge.

Handwritten Japanese text in cursive (sōsho) style, arranged in vertical columns. The text is dense and includes various characters, some of which are repeated. The rightmost column starts with '一' (one) and ends with '七' (seven). The leftmost column starts with '一' (one) and ends with '七' (seven). The text is written on a page that is slightly aged and has some ink smudges.

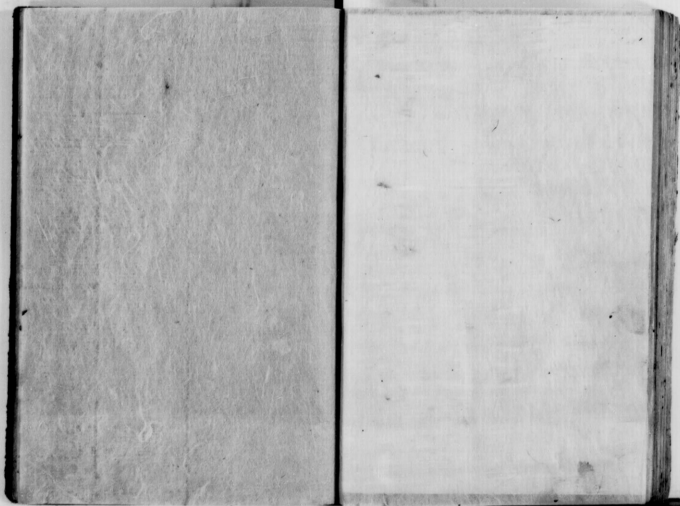
癸卯年七月五

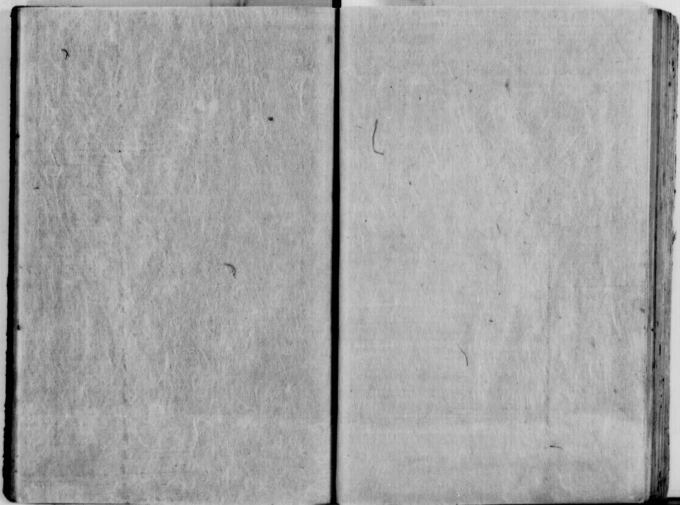
全德門外詩世間事亦自來

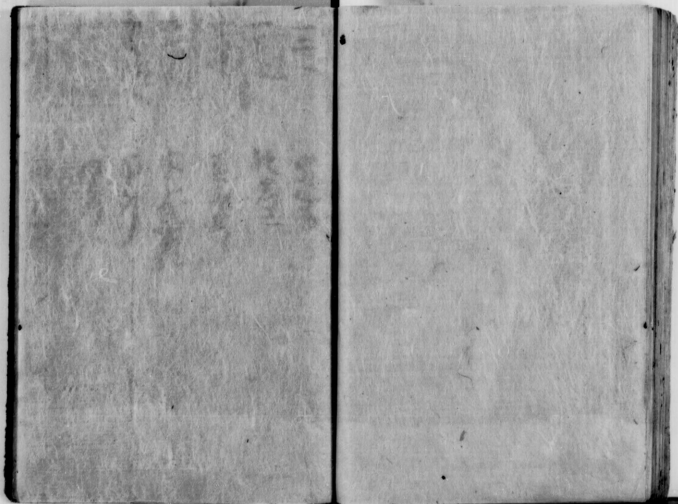
月廿六日大令

一全德

癸卯年七月五  
全德門外詩世間事亦自來  
月廿六日大令  
一全德







一主  
一主  
一主  
一主  
一主  
一主  
一主

一主  
一主  
一主  
一主  
一主  
一主  
一主

一  
五  
七

蘇州府志卷之五



